

一太郎が新しくなった！

一太郎のすごいところガイド

コンピュータに興味は持ってるけど……って人へ

by Kazutaro V.5

第2回 え〜と仮名漢字変換についてです

仮名漢字変換は、ワープロの命ともいえる大事な部分です。どんなに優れた機能を持つワープロでも漢字変換がズンドコでは、変換作業に手間取って頭の中からあふれてくる言葉がスムーズに文字にならないことでしょう。

(ワープロが出始めの頃は、清書機として使われることが多かったので、それでもよかったです。))

ワープロ専門機は仮名漢字変換のシステムと機械そのものが一体であるため、あまりその存在を意識することがありませんが、パソコンソフトとしての多くのワープロは仮名漢字変換システム (FEP) が独立しています。

一太郎はATOK (エトック) というシステムを持っています。ATOKは一太郎以外のソフトでも (対応していれば) 使えるようになっています。

さてそのATOKですが、一太郎V4ではATOK7だったのが、一太郎V5では、ATOK8となりました。今回はこのATOK8について書いてみたいと思います。

1. 辞書

標準の辞書容量は14万語、2.7 M メガバイト byte だ。14万語という数字は、ワープロ専門機からすれば、特に大した数字ではないかもしれない。だが、フロッピーの容量を超えている2.7 M byte という数字は、従来の98等のソフトに付属するFEPとしては、異例の大きさだ。フロッピーの容量を超えているということは、フロッピーだけのシステムでは動かすことができないということである。つまりATOK8を使う多くのユーザーがハードディスクを使用しているという前提でつくられているわけで、フロッピーで動かすことができるというメリットよりも、変換効率の方を重視したということだろう。

2. 変換効率

さて大型辞書ATOK8だが、50万例の関連情報も持っているそう。これによりワープロ専門機の独壇場だった、AI変換も可能になった。ちょっとやってみましょう。

はしのはしをわたるのはしなんだ。

↓
橋の端を渡るのは至難だ。

じしんがおこるかはわたしじしんはじしんがない。

↓
地震が起こるかは私自身は自信がない。

この2例はうまく行った例。

ふねがけっこうしてもけっこうだ。

↓
船が欠航しても結構だ。

この例は後の方の「けっこう」が、この文章だけでは「結構」なのか「決行する」のか、判断がつかない場合です。「けっこうします」と入力すると、ちゃんと「決行します」と変換する。

とよなかししんせんりにしまち

↓
豊中市新千里西町

地名もかなり強くなりました。

かぶとやましんりんこうえん

↓
甲やマシン燐光炎

といっても相変わらずズンドコな変換もやってくれますが……。

3. カタカナ・英字変換

カタカナに関しては、従来のATOK7でも、ある程度の学習はしていた。たとえば「ホロンピア」という単語をF7キーでカタカナ変換すると、電源を切るまでは学習して変換するのだ。

だが今回のATOK8は、新たに電源を入れ直してからでも変換するよう

に、辞書に登録してくれる（しかも自動的に）。これは登録するかどうか、ユーザーが決めることができるので、「ポヨヨ〜ン」とか「ドッショエ〜」とか、しょーもないカタカナで辞書を膨らますこともできるということだ。

このカタカナ自動登録は実に便利で、デイ岩とかキダ・タローとか、今までカタカナ語を、esc H W A で単語登録していた苦労していたのは、いったい何だったんだろうという感じすらするなあ。

英字変換もなかなかGOODだ。

GOODという綴りをそのまま入力してしまうと、普通は「ごおD」となってしまう。ここでF9キーで英字変換してやる。ここまでは従来と同じ。しかし次回からは、GOODと入力すると、「ごおD」とはならず、ちゃんと「GOOD」と変換してくれる。

NAKANAKAGOODNAHEN
NKANNDA

↓
なかなかGOODな変換だ。

さらに英字に関しては、全部大文字・全部小文字・頭文字だけ大文字と順に変換してくれる。

JAPAN と入力してF9を押していくと

JAPAN→j a p a n→J a p a n
というふうになる。私はあまり使わないけどね。

4. 口語体

これはホンマに便利になったわ。

いやあ、参っちゃったよ。ということ
でよろしく。うっそぴょん。

などなど、いままでとにかく漢字に
変換してやろうというF E Pが、口語
に対して少し柔らかくなった。無理に
変換しないというのは、エエことやね。
この口語文もどんどんと単語登録され
ていたら、もしかしたら、大阪弁な辞
書とかもできるかもしれないなあ。

何いう手万年。 あかんか。

↑↑↑ 失敗例

5. 先頭末端部分確定

これも便利だぞー。要は入力した単
語の最初や最後の漢字だけ残すという
変換だ。どういうときに使うかとい
うと、名前や地名など固有名詞の入力
をするときだ。

例えば「利倉」と入力したいとする。
「とくら」と入力しても変換しないと。
こういう場合、「り」と入力して、ひ
たすら「理里吏李裏離璃梨履痢……
利」と搜していくよりは、「利用」と
入力して「用」を削除するという方が
てっとり早いだろう。

しかし、これからは、「用」を削除
するのではなくて、「利」だけを一発
で残すことができるようになったのだ。
簡単だ。

「りよう」と入力して変換キーを押
す。「利用」にかわる。ここで

ROLLUP キーで、「利」だけが、
ROLLDOWN キーで、「用」だけが、
それぞれ残るのだ。

6. その他

辞書が最大10個まで選択でき、変
換中に変更できるとか、表示色やロー
マ字入力方法が変更できる、キーの割
り付けがかなり自由に変更できるなど、
ユーザーの好みに合わせた設定ができ
るようになっている。

また、一太郎V4や花子V2など
ATOK7対応のソフトなら、設定を
行えば、そのままATOK8を利用す
ることができる。これは Verygood だ。
当然ATOK6対応の他のワープロで
も8TO6.COMを使えばOKだ。

一太郎V5を使うには、ハード的にし
んどい場合でも、ATOK8だけ使う
こともできるということだ。

このようにワープロの命であるF E
P部分は大幅に改良された。スピード
もそう遅くはない。ということで、
なかなかGOODじゃないでしょうか
ねえ。

第2回 おわり

来月に続く（と思う、たぶん）